

まき歯科新聞

第39号

〈毎月第3火曜日〉



10月は神無月と言いますが。。。

ふと見上げると、いわし雲が一面に広がる季節となりました。

我が家もついに毛布の出番となりました。秋といえば、食欲・スポーツ・読書など様々ですが、秋の風物詩に『お祭り』があります。長崎のおくんちなどはその代表的なものですが、この島原でもあちろちろちろで秋祭りの笛太鼓の音が聞かれます。

先日、神社のお祭りで長女達は大鼓演奏をしたのですが、感動にひたる母はそちのけで舞台から降りてきた彼女の視線の先には・・・屋台☆渾身の演奏でお腹がへったのでしよう、かき氷にフライドポテトにたご焼きに・・・天高く娘肥える秋のよつひです(；)。

ところで、皆さん『歯の神様』ってご存知ですか？実は日本各地には『歯の神様』が数多く存在します。それだけ、はるか昔から人間vsむし歯・歯周病の戦いが続いているといふことになりますね。

全国に色々な神社があるので、『白山神社』は全国に数百存在する神社で、諸説あるのですが

①修験者の一人が荒行に耐えて、成し遂げたらむし歯の痛みが和らいだ。

②江戸時代中期の後桜町天皇が、白

山神社（京都）の神箸と神盥を使ったり、歯痛が治った。

③『はくた』→『歯告散』という語呂合わせ。

④歯槽膿漏のことを『はくた』と言っていたことから。

などと言われています。東京・文京区の白山神社では、毎年お祭りの時には『歯ブラシ供養』といって、使った歯ブラシを集め新しい歯ブラシを配って、歯の健康をお祈りするのだとか。その他、大阪にあるその名も『歯神社』。元々の由来は、この神社のご神体であった巨石が、淀川の氾濫による一帯の水没を歯止めしたこと。この頃か『歯痛止め』『歯の神様』として知られるようになったよう。『歯磨き』は己の心磨き』として、歯の大切さを伝えていたのだとか。

にぎやかな笛太鼓の裏には、歯の痛みに悩まされてきた先人達の願いがこめられているようです。しかし科学は進歩し、穴のあいたむし歯は神頼みでは恐らく・・・というより治りませんーせつつかく願うなら『歯神様』手を合わせるのもよいですが、せひかかりつけの先生と固い握手を☆お口に悩まされず、秋晴れの日を楽しみたいものですね！

健口から健康のお手伝い

まき歯科

院長 副島真紀

診療時間

月～金曜 10:00～12:30/14:00～20:00
土・祝日 10:00～14:00

診療科目

歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科
※訪問診療も行っております。

島原市上新丁 1-4158-1 あんしんハウス島原 1F TEL.64-5077

